

平成21年度第2回愛知県周産期医療協議会

議 事 要 約

日時：平成21年11月13日（金） 午後3時から午後5時

場所：名古屋第一赤十字病院 会議室1・2

委員

出席者：石川委員、石田委員、一木委員、岩田委員、上村委員、小口委員、岡田（節）委員、
岡田（由）委員、可世木委員、木村委員、倉内委員、小山委員、榊原委員、柴田委員、志水委員、
鈴木(千)委員、寺澤委員、早川(博)委員、松澤委員、森川委員、山崎委員、山田委員、吉田委員

欠席者：鈴木(悟)委員、田中委員、柵木委員、二村委員、

事務局

出席者：愛知県健康福祉部児童家庭課課長、同課主幹（母子保健）、同課課長補佐（母子保健）、医療福祉計
画課主幹（計画）、同課主査（計画）、医務国保課主査（医療対策）、名古屋市子ども青少年局子育て
家庭部子育て支援課長、名古屋第一赤十字病院小児保健科部長、コロニー中央病院産婦人科

欠席者：なし

オブザーバー

出席者：中島先生、山本先生、藤巻先生、家田先生、河井先生、福田先生、鈴森先生、松原先生、
早川(昌)先生、篠原先生（代理木下）、加藤先生、大野先生、多田先生、佐橋先生、

欠席者：長井先生、

司会者：名古屋第一赤十字病院小児保健科部長

議 長：石川会長

1 石川会長あいさつ

2 新任委員紹介あいさつ

岡田（由）委員あいさつ

3 議事

（1）平成21年度愛知県周産期医療情報システムについて

- ・平成22年度（平成22年10月31日）に医療情報システムが契約更新になります。
- ・要望等がある方は、事務局までメールでお知らせください。
- ・応需情報の更新にご協力ください。

（2）平成21年度専門相談研修会の報告と今後の予定について

既に関催された研修会

【平成21年6月27日（土）（尾張医療圏）愛知県心身障害者コロニー中央病院】

- ・「第三回新生児蘇生法「専門」コース講習会（Aコース）」を開催し、35名の参加がありました。

【平成21年7月20日(月)(西三河南部医療圏)安城更生病院】

- ・ 「胎児心エコー(診断へのアプローチ)」について講演会を開催し、59名の参加がありました。

【平成21年10月10日(土)(尾張医療圏)愛知県心身障害者コロニー中央病院】

- ・ 「第四回新生児蘇生法「一次」コース講習会」を開催し、30名の参加がありました。

【平成21年10月24日(土)(名古屋医療圏・尾張中部医療圏)名古屋第一赤十字病院】

- ・ 「周産期とインフルエンザ」について講演会を開催し、39名の参加がありました。

【平成21年10月24日(土)(尾張北部医療圏)小牧市民病院】

- ・ 「超音波による胎児診断～形態異常のスクリーニング～」について講演会を開催しました。

【平成21年11月7日(土)(知多半島医療圏)半田市立半田病院】

- ・ 「日本版カンガルーケアガイドラインのご紹介～安全にカンガルーケアを行うために～」について講演会を開催しました。

今後の開催予定

- ・ 今年度の研修会担当施設の公立陶生病院(尾張東部医療圏)、岡崎市民病院(西三河南部医療圏)は、開催をよろしく申し上げます。
- ・ 予定が決まりましたら、事務局まで連絡ください。
- ・ 新生児蘇生法講習会の開催を希望する施設は事務局までご連絡ください。

新生児心肺蘇生法の拡充

- ・ 新生児心肺蘇生法インストラクターコース参加の交通費補助は、10月3日大阪大学医学部附属病院での講習会に1名の申請がありました。
- ・ 今後は、平成22年1月15日(金)京都(京都国際会議場)、平成22年3月14日(日)東京(愛育病院)での開催が予定されています。
- ・ 交通費補助をご希望の際は事前に事務局までご連絡ください。
- ・ 新生児心肺蘇生法練習用人形の貸し出しを行っています。希望される場合は、事務局までご連絡ください。

(3) 平成21年度愛知県周産期医療調査・研究事業の中間報告について

【愛知県における平成19～20年の妊産婦死亡の実態調査と検証】

名古屋第一赤十字病院

石川 薫

名古屋市立大学大学院医学研究科

鈴木 佳克

- ・ 別紙参照
- ・ 愛知県の妊産婦死亡が多いことから調査を実施しました。
- ・ 一次アンケートは、各施設の妊産婦死亡の有無を確認しました。
- ・ 二次アンケートでは、死亡例を個々に分析して原因を明らかにする。
- ・ 調査は平成19年・20年の2年間の全分娩症例を対象としました。
- ・ 一次アンケート調査の結果は、157施設のうち150施設から回答がありました。

- ・平成19年・20年で発症数が17例ありました。
- ・現在二次アンケートを実施し調査中です。(死亡例の有った施設へアンケートを実施)
- ・死亡原因は脳出血・子癇、肺梗塞、分娩時出血、異所性妊娠(子宮外妊娠) その他、偶発的合併症でした。
- ・母子保健の主たる統計では、愛知県の妊産婦死亡は平成17年11例、平成18年4例、平成19年6例となっています。
- ・産婦人科医会の医療事故・過誤防止事業及び愛知県医師会の医療安全対策委員会での死亡把握数は、平成17年2例、平成18年1例、平成19年5例、平成20年6例でした。
- ・今回の調査では、平成19年7例、平成20年10例の妊産婦死亡例を確認しました。
- ・実施調査では愛知県の妊産婦死亡は決して少なくありません。
- ・今後各施設に詳細な調査を実施する予定ですので、協力をお願いします。
- ・全ての症例についてPeer reviewを実施したいと考えています。
- ・原因が何処にあるのか、「愛知県の周産期医療体制の不備」「情報システムの不備」「個々の施設レベルの問題」か、Peer reviewの調査実施を考えていますので、是非参加をお願いします。

【愛知県における産科大量出血および妊産婦安全管理に対する実態調査】

名古屋大学医学部附属病院

早川 博生

- ・9月・10月にアンケートを実施しました。
- ・一次アンケートは、「輸血症例数」「院内に常備されている輸血製剤の数」「麻酔科の有無」「出血時の管理が自院か搬送(搬送先名)か」「ガイドライン」について実施。
- ・170施設にアンケートを依頼し、現在127施設の回答がありました。(75%)
- ・二次アンケートでは、輸血した個別事例の調査を実施し、現在13施設61例の回答がありました。
- ・弛緩性出血15例、早期剥離13例が多かったです。
- ・前置胎盤は少なかったです。
- ・今後100%の回収率を目指しています。

【Q】施設としては、何処が多かったか。

【A】名古屋第一赤十字病院、名古屋第二赤十字病院が多く、各地域周産期母子医療センター及び大学病院も多かったです。

(4) 平成21年度特別講演会・調査研究報告会について

日時：平成21年12月12日(土)午後2時から開催予定。

場所：愛知県医師会館 健康教育講堂(地下)

<特別講演会>

講師：日本赤十字社医療センター 周産母子・小児センター長 杉本充弘 先生

演目：母体救命搬送について～東京都の試み～

< 調査・研究報告会 >

テーマ：フリースタイル出産をした産婦の分娩第 期・第 期における体験の様相

愛知県立看護大学 高橋 弘子

テーマ：NICU 退院児における広汎性心身障害者の早期診断プログラムの開発

コロニー中央病院 山田 恭聖

テーマ：愛知県における胚移植妊娠の実態調査・二次調査

愛知県産婦人科医会 可世木 成明

名古屋第一赤十字病院 安藤 智子

テーマ：NICU の利用率向上に関する検討

名古屋第二赤十字病院 倉内 修

名古屋第二赤十字病院 田中 太平

テーマ：愛知県における帝王切開と前置胎盤発症の推移、およびその管理治療に関する実態調査

名古屋大学医学部附属病院 早川 博生

- ・ 特別講演では、東京都のスーパー総合周産期センター（3施設）指定後、全ての搬送患者の受入れシステムの実態について講演していただきます。
- ・ 是非ご出席ください。

< 次回医療協議会開催について >

* 平成 21 年度第 3 回周産期医療協議会を、平成 22 年 3 月 26 日（金）「名古屋第一赤十字病院 会議室 1・2」にて開催します。